

作成年月 2000年3月
作成者 JECTEC WG

インベントリ項目	冷延鋼板、冷延鋼材、薄鋼板、冷延コイル
環境負荷項目	CO ₂ (プロセス累積加算量)
地理的な有効範囲	国内
無視するバラツキ要因	負荷分配、デ - タの収集方法、時間 技術、CO ₂ 排出係数等。

< CO排出量 >

No	品名	品質規格等	CO ₂ 量(kg/kg) [累積加算量]	インベントリ分 析集計方法	システム 境界	デ - タ参照 資料
1	冷延鋼板	< 冷延鋼 >	1.288	積み上げ法	海上輸送 + 国内	資料
2	冷延鋼板		1.52	積み上げ法	国内	資料
3	冷延鋼材		1.551	積み上げ法	海上輸送 + 国内	資料
4	薄鋼板		1.534	積み上げ法	海上輸送 + 国内	資料
5	冷延コイル		2.69	積み上げ法	海上輸送 + 国内 *	資料
6	冷上鋼板	< 電炉鋼 >	1.362	産連表	国内	資料
7	冷延鋼材		0.544	積み上げ法	国内	資料

* 工場間接分含む。

< デ - タ参照資料 >

資料 : 『ライフサイクルアセスメントにおける基礎素材の製造デ - タ』、環境管理、31(6)、616-627(1995)

資料 : 『環境負担性評価システム構築のための基礎調査』研究報告書 (別冊)

< 金属素材インベントリデ - タ >、未踏科学技術協会、平成7年3月、P67 ~ 68。

資料 : 『基礎素材のエネルギー解析調査報告書』、(社)化学経済研究所、平成5年9月、P40 ~ 46

資料 : 『プラスチック製品の使用量増加が地球環境に及ぼす環境評価』報告書 [改訂版]

平成5年7月 社団法人 プラスチック処理促進協会 P109 ~ 112

資料 : 『日本エネルギー - 学会誌 第77巻第12号 (1998)』P934 ~ 1192

資料 : 『地球環境時代における建設設備の課題』、空気調和 衛生工学会、地球環境に関する委員会、平成7年3月。

< プロセスの概要 >

参考資料 3.(2) - 22 - 2 St (その1) 参照。

以上